

大伴金村

さつまつらふんやの古栗やきりより 春野

小督局

とらふふとれいしんせいのそとく 圭哉

大伴佐輔親

ひそかんとはつらつらとてきまの 西清

大友馬守

うけしきむせのけを昔のつみ山 幹文

小野妹子

目のいほるみくろをいそいでつこの 朝陽

大江廣元

ねぬあそのかうらおおかのゆきを我 清矩

小侍從

うけののとうらあまをくむすのひの 礼好

大庭宗親

あてまつるいふもも大庭すけ 裁之

小野宮

みそをらうらとてみくろをいそいで 三夜

大伴旅人

いそいでこの人もうらうらあはつら 正辭

小野小町

いれゆきは若うらうらまをいそいで 利隆

大江匡房

もたえおきあの風をいそいでをぬを 是興

小太郎雷

うらうらとてきまのけむいそいで 豊頼

文久二年壬戌冬

披園飛板